

アイヌの 美しき手仕事

The Beauty of Ainu Handiwork

2024

10 | 土 - 12 | 日
12 | 15

豊田市民芸館

休館日 | 月曜日(10月14日・11月4日は開館)

開館時間 | 午前9時30分-午後5時

会場 | 第1・第2民芸館

観覧料 | 一般800円・高大生600円

中学生以下と豊田市内在住の70歳以上、障がい者は無料(要証明)

※その他減免については豊田市民芸館HPをご覧ください

主催 | 豊田市民芸館 後援 | 公益財団法人アイヌ民族文化財団

出品協力 | 日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館



アイヌの 美しき手仕事

The Beauty of Ainu Handiwork



1. イラクサ地切伏刺繍衣裳(テタラベ) 丈126cm 樺太アイヌ [日本民藝館蔵]
2. 木綿地切伏刺繍衣裳 丈122cm [日本民藝館蔵]
3. 刀掛け帯(エムシアツ) [静岡市立芹沢銈介美術館蔵]
4. 首飾り(タマサイ) 部分 [日本民藝館蔵]

日本民藝館創設者の柳宗悦(1889-1961)は、アイヌ民族の工芸文化に早くから着目し、1941(昭和16)年には美術館で最初のアイヌ工芸展となる「アイヌ工芸文化展」を日本民藝館にて開催しました。その際に染色家の芹沢銈介(1895-1984)は、同展の作品選品や展示を任されており、自身もアイヌの手仕事を高く評価し蒐集しています。

本展は2020年に日本民藝館で開催された展覧会を再構成したもので、日本民藝館所蔵の柳のアイヌコレクションと、静岡市立芹沢銈介美術館所蔵の芹沢のアイヌコレクションを紹介し、併せて「アイヌを最上の姿で示した展覧であった」と柳が評した1941年の展示を一部再現します。また今回、2023年度に当館と日本民藝館に寄贈された、約170件からなる高松静男コレクションも、多くを初公開します。

オヒョウやイラクサなどの靱皮繊維で織られた衣裳、本州から渡った古い木綿に切伏や刺繍を施した衣裳、そして幾何学文様が魅力的な刀掛け帯、アイヌ玉の首飾り、儀礼の際に用いられる木製のイクパスイなど、アイヌの手仕事には細部にまで豊かな想像力や深い精神性、そして卓越した造形力がみられます。柳がアイヌの工芸から受けた「真実なものへの強い感銘」を本展を通して共有し、民族の多様性を尊重する社会へと繋ぐことができれば幸いです。



5. 煙草入れ(オトホコヘ) 高7.0×横12.0cm [静岡市立芹沢銈介美術館蔵]
 6. 椀(チェベニパボ) 7.3×31.4cm 樺太アイヌ [日本民藝館蔵]
- 表面、木綿地切伏刺繍衣裳(部分) 高松コレクション [日本民藝館蔵]

関連企画 記念講演会

日時 | ①11月23日[土] 午後2時-3時半
「アイヌ工芸ことはじめ」
②12月7日[土] 午後2時-3時半
「アイヌと民藝」(北海道大学アイヌ・先住民研究センター巡回講座)
講師 | 山崎 幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター センター長)
会場 | 豊田市民芸館 第3民芸館
聴講 | 無料 ただし会期中の観覧券の提示必要
定員 | 先着50名程度 事前申込み不要

周辺施設のご案内

- ・豊田市本多記念民芸の森 「本多静雄と外国の蒐集 楽しい動物のもよう」 10月5日[土]-12月15日[日]
- ・豊田市博物館 「旅するジョウモンさん -5千年前の落とし物-」 10月12日[土]-12月8日[日]
- ・豊田市美術館 「しないでおく、こと。-芸術と生のアナキズム」 10月12日[土]-2025年2月16日[日]

豊田市民芸館

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
TEL.0565-45-4039
<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>



関連プログラム

民芸館ホームページを随時更新します



[名鉄三河線平戸橋駅より] 徒歩約15分

[お車ご利用の場合]

- 東海環状自動車道豊田勘八ICより約10分
- 猿投グリーンロード枝下ICより約10分
- 東名高速道路豊田ICより約30分